

# 東京大学新図書館計画 アカデミック・コモンズ

## 寄附のお願い



寄附者の特典の詳細、  
その他ご不明点は下記までお問い合わせ下さい

### 【ご寄附のお問合せ】

東京大学 基金事務局  
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1  
電話:03-5841-1217  
FAX:03-5841-1219  
E-mail:kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>

### 【新図書館計画のお問合せ】

東京大学 附属図書館  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
電話:03-5841-2615  
FAX:03-5841-2636  
E-mail:ac-info@lib.u-tokyo.ac.jp  
<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

## 東京大学新図書館計画 「アカデミック・コモنز」ご支援のお願い

本郷キャンパスの中心に位置する総合図書館は、1923年の関東大震災で壊滅的被害を受け、米国のジョン・ロックフェラー Jr. 氏の寄附によって、1928年に再建されたものです。当時としては世界最先端の建物・設備であり、以降90年にわたり、本学の中心的な図書館として大きな役割を果たしてきました。しかし90年を経た今、施設設備の老朽化は免れず、蔵書の収容能力にも限界が来ていました。

この貴重な建造物と学術資料を次世代に継承し、世界に開かれた知の集積・創造・発信を行う、21世紀にふさわしい図書館へと進化すべく、東京大学は2013年より新図書館計画を推進しております。そのため、新図書館計画「アカデミック・コモنز」基金を設け、広く寄附をお願いしているところです。

これまでのご支援により、図書館前広場の地下に、自動書庫と教育・研究のための多機能スペース「ライブラリープラザ」を擁する「別館」が完成しました。「ライブラリープラザ」は現在も進化を続けながら、将来を担う学生たちが日々議論をたたかわせ、学習・研究をする場となっています。

また図書館本館の改修工事は順調に進行し、歴史ある外観を継承したまま、快適な学習空間を実現しつつあります。これから改修工事はいよいよ終盤に差しかかってまいります。残る部分には最先端の機能を備える空間を用意する予定です。多くの皆様のより一層のご支援を賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。

東京大学附属図書館長  
熊野 純彦

### 寄附事業

募集金額 40億円

募集期間  
2012年10月～2020年3月(7年6ヶ月)

# 東京大学新図書館計画 アカデミック・コモنزにご協力ください

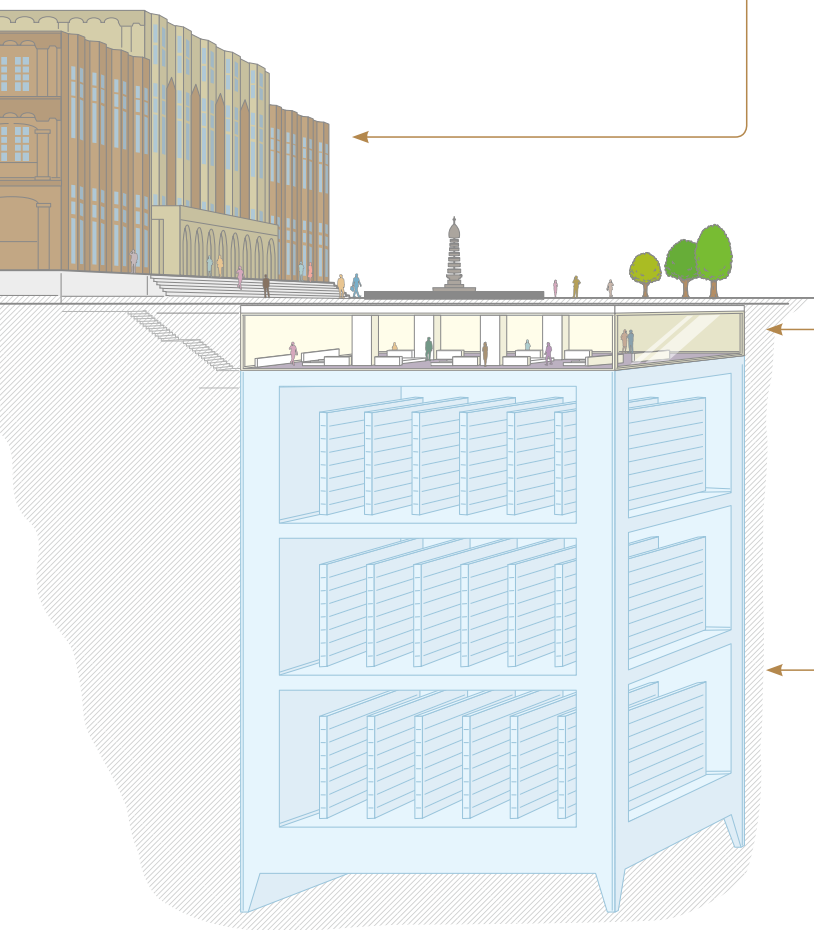
東京大学は  
教育と研究のための新たな拠点として、  
本郷キャンパス総合図書館を大幅に拡充する  
東京大学新図書館計画  
「アカデミック・コモنز」を推進しています。  
これは、図書館前広場の地下に別館を建設し、  
伝統ある本館は外観を保存したまま  
内部を全面改修する、というものです。  
次の世代に受け継ぐ、新学術拠点の構築。  
その実現に向けて  
さまざまな取り組みを実施しています。



©Shigeo Ogawa



# 東京大学新図書館計画 「アカデミック・コモンズ」 全体像と概略



## [本館]

伝統ある外観は保存したまま、内部を全面改修します。

- 4階** 世界最高水準のアジア研究図書館を設置します。
- 3階** 閲覧スペースを拡充します。
- 1・2階** 電子メディア時代に対応した新しい機能を実現します。

## [別館ライブラリープラザ]

### 地下1階

能動的な学習・研究活動を支援します。学生や研究者が議論や研究成果を発表する場として活用していきます。



## [自動書庫]

### 地下2階~4階

別館の地下40メートルに建設される書庫です。約300万冊の蔵書を収蔵し、端末からの指示により、数分で書籍を自動的に取り出せる機能を搭載しています。



ロードマップ  
(予定含む)





### 1 電子図書館と伝統的図書館の融合

東京大学が有する膨大な学術資産のうち、約300万冊を収容できる巨大な自動書庫を設置しています。また、電子化された学術資産情報を集約し、アーカイブズとして公開します。このことにより、実物の本と電子情報とから成る豊富なコンテンツをベースとして伝統的な図書館とデジタルアーカイブズ双方の機能を活用できる、「ハイブリッド図書館」を目指します。



### 2 世界最高水準のアジア研究図書館

本館4階には、アジア研究のための第一級の学術資料、貴重な蔵書やコレクションを集め、研究機能を持つ新たな「アジア研究図書館」をつくります。内外のアジア研究者が集う世界最高水準のアジア研究環境が実現します。



### 3 教育との連携と国際化への対応

別館の地下1階に、学生たちの学習や自主的・能動的な研究活動をサポートする学びのための交流広場「ライブラリープラザ」が完成しました。東京大学が推進する、教育の改革や国際化の取り組みと連動し、様々な取り組みを行っています。



### 4 日本の学術文化の世界への発信

世界トップレベルの学術資産を擁する東京大学の博物館・文書館や学内の様々なプロジェクト、学術出版社等と緊密に連携して、日本の学術文化を世界に向けて広く発信します。



### 5 出版文化の公共的基盤



電子メディア時代の現在、活字文化は大きな変化を迎えています。新図書館は、学術資産の電子化を進めると同時に、実物の書籍を確実に管理、活用し、学術の発展に役立てていきます。日本の社会に確かな知を保証する公共的な基盤の役割を果たします。

# 東大の歴史とともに時を重ねて

## 荘厳な内部空間を有する建築史に残る傑作

現在の総合図書館は、関東大震災での焼失の後、ジョン・ロックフェラーJr.氏より400万円の寄附を受けて1928年(昭和3年)に完成したものです。震災での教訓を生かし鉄骨鉄筋コンクリート造りの頑強な構造を備え、さらにゴシック風の細部とアーチを外観に持つデザインとなっています。このような歴史的経緯のある建造物でもあることから、今回のプロジェクトでは構造と外観をそのまま保存し、内部のみを全面改修することにしました。開架式の明るくオープンな書架スペースを設置し、広く閲覧しやすい環境を整えます。



本館は、のちの第14代東大総長、内田祥三による設計で、2018年に90年目を迎えました。



入り口から3階フロアまで続く階段の構造も創建当時の姿のまま改修しました。

## 東大図書館歴史年表

**明治10年** 東京大学が創設され、法理文三学部図書館が設置されました。



明治期の図書館

**明治25年** 煉瓦造りの図書館(帝国大学図書館)が新築されました。明治40年には、著しく増加する蔵書に対処するため、書庫が増設されました。

**大正12年** 関東大震災により図書館は全焼し、76万冊にも及ぶ蔵書の大部分が灰塵に帰してしまいました。



震災で廃墟になった図書館

**昭和3年** J.ロックフェラーJr.氏からの寄附を財源に、図書館が再建されました。また震災直後より国内外から数多くの図書の寄贈をいただきました。

**昭和20年** 太平洋戦争で東京一帯が焼け野原になる中で、図書館は空襲の被害を免れました。



図書館工事風景

**昭和30年代後半** 岸本英夫館長による改革のなかで、図書館機能の向上のための全面的な改修が行われ、参考室等が新たに設置されました。このとき、図書館は「総合図書館」に改称されました。

**昭和60年前後** 総合図書館の大規模改修が行われ、開架図書の拡充、地下書庫の増強等が行われました。

**現在** 新図書館計画を推進中。

### 新たな特典を付与する キャンペーンを実施しています

総合図書館3階にある大閲覧室は、創建当時の姿を保持した歴史ある学びの空間です。今回のキャンペーンは、従来の特典に加えて、この歴史ある大閲覧室の大机あるいは書架に銘板を設置する特別なものになっております。ぜひ、この機会にご協力いただけますようお願い申し上げます。



3階大閲覧室

#### 1 大机への銘板設置

創建当時から90年近く使われている8人掛けの木製大机を修復再生して利用します。1口30万円のご寄附をいただいた個人・法人の方を対象に机前面にある仕切り板に銘板プレートを設置いたします。※銘板は1人1口です。



#### 2 書架への銘板設置

大閲覧室の書架は歴史と伝統を感じさせるものを新設いたします。1口30万円のご寄附をいただいた個人・法人の方を対象に、書架両側にある側板上部に銘板プレートを設置いたします。※銘板は1人1口です。



### 大机または書架を選ばれなかった方は従来通り「総合図書館特別利用証」を発行いたします

30万円以上ご寄附いただいた個人の方には、書庫入庫や開架図書の貸出が可能な「総合図書館特別利用証」(3年間有効)を発行します。また、300万円以上ご寄附いただいた個人の方には「総合図書館特別利用証」(終身有効)を発行します。



※3年間の有効期間中、工事で長期閉館した場合は、有効期間を延長します

※詳細につきましては下記へご連絡下さい。  
[東京大学 附属図書館] 電話(03)5841-2615

#### 総合図書館への銘板設置



累計10万円以上ご寄附いただいたすべての個人・法人の方は、総合図書館の銘板にお名前を記して末永く掲示いたします。





## 寄附特典について

### 東京大学基金への寄附について

東京大学基金への寄附には、従来通り以下の特典が付与されます。

#### 1 安田講堂の銘板にお名前を掲示いたします



30万円以上ご寄附をいただいた個人・法人の方（貢献会員以上）のお名前（連名も可能です）を刻印した銘板を、長い歴史を有する安田講堂に掲示させていただきます。既に掲示されているご寄附者は除きます。

#### 2 本学主催「感謝の集い」へご招待します

今年度累計で30万円以上ご寄附いただいた個人の方を、翌年度ご招待いたします。



#### 3 称号の付与

※ご寄附いただいた金額は、累計されます。

特別栄誉会員	1億円以上のご寄附
栄誉会員	1,000万円以上のご寄附
特別貢献会員	500万円以上のご寄附
功労貢献会員	100万円以上のご寄附
貢献会員	30万円以上のご寄附
賛助会員	10万円以上のご寄附

※1～3は、東京大学基金への全てのご寄附を対象とします。

## 税制上の優遇措置

### 個人からのご寄附

2,000円を超える部分について、当該年所得の40%を限度に所得控除対象となります。別途お送りする寄附金額収書を、控除証明書としてご利用ください（確定申告によりお手続きください）。

※所得税確定申告対象は、1月1日から12月31日までの期日となります。

### 寄附金控除により減額される税金(所得税)の目安

(あくまで目安ですのでご参考としてお取り扱いください)

寄附金額	課税所得金額 (単位:円)			
	500万	900万	1,500万	2,000万
5万	9,600	11,040	15,840	19,200
10万	19,600	22,540	32,340	39,200
30万	59,600	68,540	98,340	119,200
100万	199,600	229,540	329,340	399,200
500万	463,560	1,029,000	1,649,340	1,789,340

※東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県在住の方は、個人住民税の寄附金控除(税額控除)の対象となっております。詳細は事務局または自治体の税務担当課へお問い合わせください。

### 法人からのご寄附

東京大学基金への寄附は税務上、全額損金に算入可能です。



## ご寄附のしかた

### 1 書面によるお申し込み

同封の「払込取扱票」(寄附目的に**大机(30万円)**、**書架(30万円)**、**大机書架以外(新図書館計画)**と記載のあるもの)に必要事項(各票の※印欄)をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください。ゆうちょ銀行・郵便局および以下の金融機関の本支店窓口でのお振込みは手数料がかかりません。「払込取扱票」は寄附申込書も兼ねております。振込手数料が必要となる場合は、東京大学が負担しますので、ご寄附いただく金額から手数料分を差し引いた金額をお振込みください。



#### 【口座名義】

国立大学法人東京大学

#### 【口座番号】

● 三井住友銀行 東京公務部  
(096) 普通貯金 0165539

● みずほ銀行 本郷支店  
(075) 普通貯金 2592055

● 三菱UFJ銀行 本店  
(001) 普通貯金 0634582

● りそな銀行 本郷支店  
(453) 普通貯金 1714277

● ゆうちょ銀行  
00140-8-741661

### 2 Webサイトからのお申し込み

東京大学基金ホームページから、下記の方法でお申し込みいただけます。

#### 【ご寄附の方法】

- クレジットカード決済
- インターネットバンキング決済
- 銀行間振込決済
- コンビニ決済(5万円未満のご寄附のみ)

#### 【東京大学基金ホームページ】

東大基金

検索

<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>

寄附ボタンより申込画面へお進みください。

- ① 寄附目的で「支援プロジェクトを指定する」をお選びください。
- ② 支援プロジェクト名に**新図書館計画「アカデミック・commons」**をお選びいただき、「支援プロジェクト」欄の「ご支援先の内容を記入する。」にチェックを入れてください。
- ③ 「その他」欄にご寄附いただけるキャンペーンの内訳をご記入ください。

寄附情報入力	
寄附目的	※ 支援プロジェクトを指定する <span>1</span>
支援プロジェクト	※ 新図書館計画「アカデミック・commons」 <span>2</span> <input checked="" type="checkbox"/> ご支援先の内容を記入する。
その他	※ <input type="text"/> <span>3</span> ご支援先の内容を140文字以内でお書きください 入力文字数: 0



※スマートフォンからも寄附できます

#### 【内訳の記入例】

- 例1) 30万円ご寄附の場合  
大机への寄附/30万円
- 例2) 50万円ご寄附の場合  
書架への寄附/30万円、新図書館計画全体/20万円
- 例3) 100万円ご寄附の場合  
大机への寄附/30万円、書架への寄附/30万円、  
新図書館計画全体/40万円

※定期的に寄附を希望される方は、アニュアルギフトという寄附方法がございます。アニュアルギフトはクレジットカード決済により毎月、年2回、毎年など定期的に1,000円から定額のご支援をいただく寄附プログラムです。  
※頂いたご寄附のうち15%を東京大学基金に残させていただきます。